

平成 30 年度南予地方局予算の実施状況 (H31. 3. 31 現在)

- 1 予算事項名 宇和島圏域水田利用さといも生産振興事業費
- 2 事業期間 平成 30 年度～令和 2 年度
- 3 所 管 南予地方局産業振興課地域農業育成室

4 事業概要

宇和島圏域の中山間地域の水田では、冬季の積雪の影響等のため生産作物が限定され、年間の利用期間も短い。また、国のコメ政策転換により、水田有効利用が求められることや、「さといも」は有望であるが、管内では栽培が少なく、技術の蓄積や優良種芋が不足し、省力技術体系也未確立である。

そこで、栽培技術の向上、優良種芋生産や省力生産体系の確立を図り、産地化と水田の有効利用を図る。

	平成 30 年度
予算額	570 千円

5 30 年度の事業実施状況

(1) 宇和島圏域水田さといも生産振興協議会 (年間 2 回)

地域の水田利用状況と振興方策、関連事業の取り組み等を検討する会を開催した。構成メンバーは、JAえひめ南、宇和島市、鬼北町、松野町(農業担当課及び農業再生協議会)、県(農林水産研究所、南予地方局産業振興課地域農業育成室)。

① 第 1 回 : 6 月 1 日開催

事業概要、市町のさといも生産状況、JA・市町のさといも生産振興計画、取り組み可能な補助事業等の検討及び今後の指導計画等について検討

② 第 2 回 : 3 月 19 日開催

事業の取組結果報告及び来年度の取組計画について検討。



【写真 1】 水稲講習会でさといも栽培推進

(2) さといも生産技術の向上

① 栽培技術講習会の開催

既存生産者に対し病虫害防除対策等の講習会を開催。(6 月 12 日, 8 月 31 日, 9 月 20 日, 3 月 1 日 計 4 回)

② 先進地からの講師招聘と先進地視察

先進地である JA うまから講師を招き、栽培技術と種芋の保存方法について研修会を開催。また、降雪地域での種芋保管技術を学ぶため、福井県で先進地視察研修を実施。



【写真 2】 種芋保管技術研修

- ③ 作付推進パンフレット及び栽培指針の作成・配布
新規栽培者確保のため、水稻講習会でさといもの作付推進パンフレットを2,000部配布。
栽培指針を作成し、既存生産者へ配布。

(3) 省力生産体系の整備

JAで新たに導入した選果機を用いて、共同選果の実施を検討することで、生産者の出荷作業について省力化を図った。



【写真3】新規導入機での省力化実証

(4) 優良種芋生産技術の実証と普及

① セル苗展示圃の設置

JAえひめ南育苗センター圃場に展示圃を設置した。定植後の灌水管理等が難しく、腐敗が発生する等、生育が不良であったことから、技術的に更なる検討が必要であることがわかった。

② 種芋の倉庫内保管技術の実証試験

分割調整した状態の種芋を倉庫内で保管する技術の実証試験を行い、腐敗率を調査し、有効性について検討。